

《担当者名》 塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
山田 拓[yamada_k@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

患者安全とは何か、医療の質向上とは何かの基本を押さえ、疫学的知識に基づいた医療関連感染サーベイランスの方法論について学ぶ。サーベイランスの結果を基に、どのように現場の改善につなげるのか、フィードバックの方法論についても学習する。合わせて、職業感染予防・管理について労働安全衛生の視点から学習する

【学修目標】

- 1) 患者安全（安全文化）と感染予防・管理の関係について理解し、患者安全文化の促進について説明ができる
- 2) 医療の質向上のプロセスと医療関連感染サーベイランスにおけるプロセスを理解し、サーベイランス実施案を検討できる
- 3) 医療関連感染サーベイランスの種類を理解し、医療施設のニーズをどのように把握し、実施方法について検討できる
- 4) 職業感染予防・管理について、労働安全の考え方を理解し、血液・体液媒介微生物、ウイルス性疾患、そして結核曝露時の対策について、施設ニーズを加味しながら、検討できる

【学習の進め方】

すべてのテーマに置いて、事前の学習課題を提示する。実際の授業では、事前の学習課題のディスカッションを中心に進めることでアクティブラーニングを推進する

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	患者安全の基盤となる感染予防・管理	1) 医療施設における安全文化(Culture of Safety)とは何か、そして医療の質向上についての概念について 2) 医療の質向上のプロセスであるDonabedian Model of Careと感染予防・管理 3) Human Factor と感染予防・管理	塚本 山田
2 3	疫学的知識に基づいた医療関連感染サーベイランス 概論	サーベイランスの目標、種類と特徴、効果、プロセスに関して学習する 1) 医療関連感染サーベイランスの定義・目的 2) サーベイランス実施に向けた医療施設課題のアセスメント 3) サーベイランス対象と方法の選択（算出する指標、リスク調整など） 4) データの分析及び活用方法 5) 効果的なフィードバック	塚本 山田
4	医療関連感染サーベイランスの方法論	サーベイランスのフィードバックと改善策に関して、以下について学習する 1) フィードバックの対象に合わせた改善策の提案 2) サーベイランスの結果の解釈、推測される問題 3) 問題を解決するための対策の実施に向けて、質向上のプロセス	塚本 山田
5	医療関連感染サーベイランス 各論：中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス	中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスについて、以下を学習する 1) 対象者の選定 2) データ収集方法 3) 判定方法（症例判定、感染率の算出）・ベンチマークとの比較 4) デバイス使用比	塚本 山田
6	医療関連感染サーベイランス 各論：医療関連肺炎サーベイランス	医療関連肺炎、特に人工呼吸器に関連した肺炎サーベイランスについて、以下を学習する 1) 対象者の選定 2) データ収集方法 3) 判定方法（症例判定、感染率の算出）・ベンチマークとの比較 4) デバイス使用比	塚本 山田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	医療関連感染サーベイランス 各論：手術部位感染サーベイランス	手術部位感染サーベイランスについて、以下を学習する 1) 対象者の選定 2) データ収集方法・リスクインデックス 3) 判定方法（症例判定、感染率の算出）・ベンチマークとの比較	塚本 山田
8	医療関連感染サーベイランス 各論：尿道留置カテーテル関連尿路感染	尿路留置カテーテルに関連した尿路感染サーベイランスについて、以下を学習する 1) 対象者の選定 2) データ収集方法 3) 判定方法（症例判定、感染率の算出）・ベンチマークとの比較 4) デバイス使用比	塚本 山田
9	医療関連感染サーベイランスプログラムの構築	医療施設におけるサーベイランスプログラムの構築について、臨床現場でどのようにニーズを把握し、実施、そして評価しているのかを事例を基にディスカッションしながら検討する	三宅隆仁 （特別講師） 塚本
10	職業感染予防・管理概論	労働安全衛生について、労働安全法の基本を押さえながら、職業感染予防・管理について、検討する	塚本 山田
11 12	職業感染予防・管理各論：血液・体液媒介病原微生物	血液・体液媒介病原微生物による針刺し損傷・切創など曝露後の対応について	塚本 山田
13	職業感染予防・管理各論：ウイルス感染症	小児ウイルス、そして季節性のインフルエンザの医療施設内発生時の曝露後の対応	塚本 山田
14	職業感染予防・管理各論：結核	核曝露時の接触者健診と対応	塚本 山田
15	まとめ	医療関連感染サーベイランスプログラムについて、及び職業感染予防・管理について、プレゼンテーション及びディスカッション	塚本 山田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（50%）、課題レポート（50%）

【教科書】

随時提示する

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

必要な文献を適宜検索し、熟読すること。事前の学習課題を課すので、講義前に準備しておくこと。